

## ◆ コンチネンタル株式会社 ◆

平成3年創業。金属鋼板を使用した工作機械カバー、電気機器の筐体、建材などの製作を中心とした薄物板金、などを製造・加工。ITを利用した生産管理を導入し、高品質・短納期化を実現している。

業界	製造業	小売業	卸売業	農業	情報通信	その他
IoT導入の狙い	生産管理向上	設備保全	進捗管理向上	在庫管理向上	精度向上	品質確保
	作業効率化		技能継承/脱属人化		新商品・新サービスの創出	その他
IoT活用ツールの種類	作業を効率化するツール		情報把握に役立つツール		予測や要因分析等に役立つツール	

設立年	1991年10月	資本金	1,000万円	従業員	79名
本社所在地	〒939-3541 富山県富山市水橋沖172番地				
TEL/FAX	TEL:TEL(076)478-2324 FAX(076)478-2551				
URL	https://www.continental-ltd.com/				

## バーコードを活用した生産管理システムにより 製造コスト削減と原価管理精度向上を実現

### 課題

- 受注製造による少量多品種生産を行っており、生産管理が煩雑化した。
- 事務所が2ヶ所に分かれるなど、「人」「物」「情報」が社内に分散していたため、「人」や「物」を探す時間、「情報」を集める時間が必要となり作業効率が低下していた。

### 目標

- ① 工程の「見える化」による生産管理簡略化と事務作業効率化。
- ② 作業時間把握による原価管理の精度向上。
- ③ 情報集約とペーパーレス化による作業効率化。

### 課題解決

#### 【製造過程における進捗状況と積算作業時間（原価）の把握】

- 生産管理システム導入後、ITコーディネータより使用方法について指導を受けた。
- 全製品・全工程にバーコードを付して、図面や作業者など様々な情報と紐付けし管理。各工程の流れが「見える化」され、生産管理簡略化と事務作業効率化を実現。
- 各工程の作業者には、作業が完了する度に生産管理システムへの作業時間入力を義務付け、進捗状況の把握と、積算作業時間による原価管理を可能とした。
- 取得したデータをもとに工場稼働率を平準化し、生産能力を向上させ短納期化を達成。

#### 【社内ネットワーク整備による情報集約とペーパーレス化の実現】

- 社内に点在していた業務を事務所の新築に合わせて集約化。「人」や「情報」を集約することで、事務所にて全ての判断・決裁を行える体制を構築した。
- 社内ネットワークを再整備し、ドキュメント管理アプリを導入することで、全社的にペーパーレス化を推進。同時にビジネスチャットアプリを導入し、社内の情報交換・共有を促進した。

### 今後の展望

#### 【蓄積された加工データの活用】

- 過去の蓄積した製品データをノウハウとして分析・活用することで、一層の作業効率化を図り、お客様への提案力強化にも繋げていきたい。

#### 【緻密な生産計画の立案】

- 作業時間の管理精度を向上させ、より緻密な生産計画へと反映することで、生産性の改善と短納期化を目指したい。

### ＜生産管理システム イメージ＞



イニシャルコスト	ソフトウェアとシステムの構築：500～600万円 ライセンス端末：1400万～1600万円 (50～60万/1台×27～28台)
ランニングコスト	保守費用：20万円/年
導入効果	作業効率化と短納期化により生産量が約2.5倍となった。 2005年 約2000点/月 ⇒ 現在 約5000点/月

#### 【一言PR】

当社ではITを活用することで、少量多品種生産に対応してきました。板金加工業は馴染みの薄い業界ですが、日本のものづくりを支える基幹産業です。ぜひ当社ホームページをご覧ください。その一端に触れてください。